

学習課題（小学校 6 年生）



【国語】計画を立てて、少しずつ取り組んでいきましょう。

<学習内容>

◆「天地の文」（教科書 66～67 ページ）に取り組めます。

(1) 66、67 ページにある「天地の文」を声に出して一度読みます。

※66 ページにある QR コードから、朗読のお手本を聞くことができます。可能な場合は、先にお手本を聞いて、今とは違う言葉や漢字の読み方を確かめてから、音読しましょう。

(2) 67 ページにある内容の解説（大意）を読み、次の質問の答えをノートや取組シートに書きましょう。

①日輪は、何を表していますか。

②本当の春のおとずれは、何月ですか。

(3) もう一度、声に出して読みます。そして、言葉の響きやリズムについて、感じたことをノートや取組シートに書きましょう。

(4) 最後の一文（「稚き時に怠らば～なかるべし。」）をノートや取組シートに書き写し、自分が感じたことをその横に書きましょう。

※最後の一文は、福沢諭吉さんの意見です。この考えを知って、どのように感じましたか？

※67 ページの説明を確かめながら、考えましょう。

(5) 気に入った部分を次から選んで繰り返し音読し、暗唱に挑戦してみましょう。覚えたら、お家の人に聞いてもらいましょう。

A：66 ページ 1 行目「天地日月。」～3 行目「夜くらし。」まで

B：66 ページ 3 行目「一昼一夜」～5 行目「一ヶ月、」まで

C：66 ページ 5 行目「大と小とに」～7 行目「一年五十二週日、」まで

D：66 ページ 7 行目「第一月の」～67 ページ 2 行目「三百六十日、」まで

E：67 ページ 2 行目「一年一年」～3 行目「甲斐なかるべし。」まで

◆「わたしたちにできること」で学習する予定の新出漢字（「源」～「模」）を練習します。（読み方や書き順などは、300 ページに載っています。）

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- ・教科書 66 ページに掲載されている QR コードから、「天地の文」の朗読を聞くことができます。文語調の言葉の響きやリズム、漢字の読み方などを確認する際に、御活用ください。
- ・言葉の響きやリズムに親しみながら音読したり、解説を読んだりすることを通して、昔の人の物の見方や感じ方について知ることが、「天地の文」の学習の重点です。楽しんで音読している様子が見られた場合には、大いに褒めてあげてください。

【社会】



<学習内容> 「日本の歴史」教科書「歴史編」

◆ 「天皇中心のくにづくり」（教科書 28～31 ページ）をもとに、飛鳥時代や奈良時代の様子についてそれぞれ調べ、取組シートやノートにまとめよう。

ことば(教科書 P29)

(1) ^{しょうむてんのう}聖武天皇は、仏教の力で国を治めようと思いました。

聖武天皇が行ったことについて、教科書 28～31 ページを参考に、下の（ ）に言葉を入れてまとめてみよう。

- ・西暦（ ）年、24 才の時に天皇の位についた。
- ・（ ）から次々と都を移した。
- ・ばく大な費用をかけて国ごとに（ ）を建てることを命じた。
- ・世界を仏の光で照らすことを願い、（ ）をつくる^{みことのり}詔を出し、東大寺に置いた。

(2) 教科書 28 ページに「都のにぎわいを支える地方の人々の生活は厳しいものでした」とありますが、どのような生活をしていたのか、教科書で調べてまとめましょう。

ことば(P31)

(3) 大仏づくり（教科書 30～31 ページ）について答えよう。

- ① 大仏づくりで使った金属の量と働いた人の数について調べ、まとめましょう。
(金、水銀、銅、すずのそれぞれの量と、働いたのべ人数)
- ② 大仏づくりに協力した僧で、「菩薩」とよばれ、したわれていた人は誰ですか。
- ③ 大仏づくりでは、すぐれた技術をもっており、活やくした人たちがいました。その人たちのことを何と言いますか。

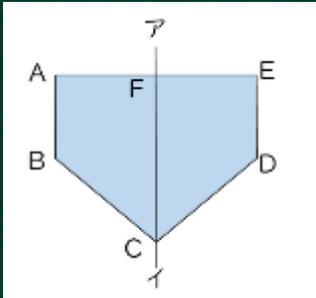
<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

- ・東京都で国分寺の置かれた場所は、今でも「国分寺」という地名が残っています。地図帳で調べてみると、現代とのつながりが感じられ、歴史への興味が広がります。

【算数】「※」は、学習するときのアドバイスです。

〈学習内容〉 ◆対称な図形（教科書 39～40 ページ）

線対称な図形

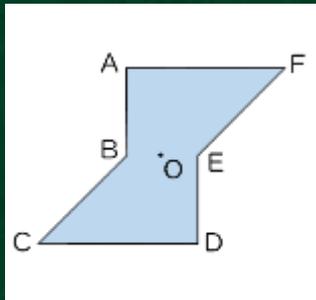


左のような線対称な図形を対象の軸アイで2つに折ったとき、ぴったり重なる頂点、辺、角はどれとどれでしょうか。下の四角に書きましょう。

※2つの合同な図形を見つけるといいよ。



点对称な図形



左のような点对称な図形を対象の中心Oで180°回転させたとき、もとの図形とぴったり重なる頂点、辺、角はどれとどれでしょうか。下の四角に書きましょう。

※線対称の時と同じように考えるといいよ。

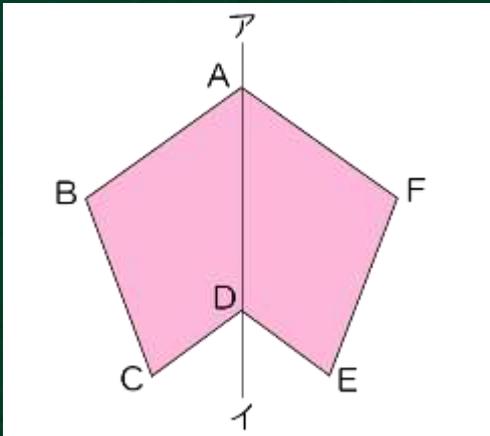


他の図形でも同じように同じようになるのかな？



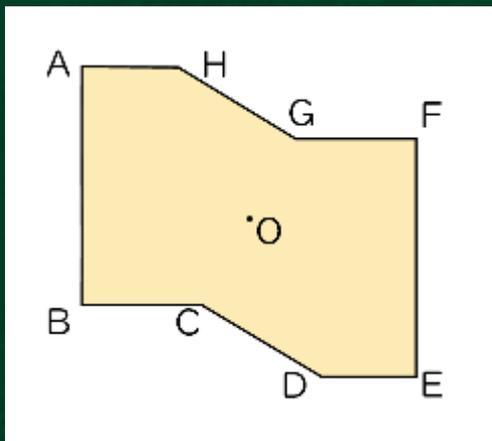
＜課題＞他の図形でも同じようになっているかな？調べてみよう！

線対称な図形



ぴったり重なる、頂点、辺、角はどれとどれかな？

点对称な図形



ぴったり重なる頂点、辺、角はどれとどれかな？



ぴったり重なるということは…

線対称な図形も点对称な図形も、対応する辺の長さは等しくなっています。また、対応する角の大きさも等しくなっています。

時間があれば ステップアップ算数 p.234～235



＜保護者による関わり方のポイント＞◆分数と整数のかけ算、わり算（教科書39～40ページ）

- 紙に写し取ったり、頂点と頂点を線で結んだりして調べることも効果的です。「合同な図形なんだから、ぴったり重なるのは当たり前だよ。」「他にも特徴があるよ。」などの考えや気づきをほめてあげてください。

【理科】

<学習内容>

◆「変わり続ける大地」（教科書 120～125 ページ）を読んで、地震や火山の噴火と大地の変化について調べます。

①『レッツスタート』（教科書 120 ページ）の図を見て、地震や火山の噴火について気付いたことを取組シートやノートに書きましょう。

※日本ではどのようなところで地震や火山の噴火が起こっているのかな。

※他の国と比べてみて、気付くことはあるかな。

②「変わり続ける大地」（教科書 121～123 ページ）を読んで、地震による大地の変化を調べましょう。

・地震前後の写真を観察し、地震による大地の変化について気付いたことを取組シートやノートに書きましょう。

・地震による大地の変化をまとめましょう。

【動画を参考にみるのもよいでしょう】

NHK for School 「日本列島で発生する地しん」

https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005300495_00000&p=box



<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

・この学習では、地震による大地の変化について気付くことを大切にしています。地震などによって起きた災害の写真を見る際には、これまでの経験（被災など）によって、見る内容を検討するなどの配慮をお願いいたします。

【外国語】

＜学習内容＞ ◆教科書 22・23 ページ Unit 3「Let's go to Italy.」

・今週も★Aと★Bのどちらかを選択して取り組みましょう。

★A：「音声・動画」を使いながら取り組む課題です。

(1) 教科書 22・23 ページの Starting Out に取り組みましょう。教科書の QR コードを読み取り、世界の有名な建物や食べ物などについて、聞こえた順に□に番号を書いてみましょう。答えは取組シート（外国語）やお家のノートに書きましょう。

(2) 教科書 23 ページ Let's Try に取り組みましょう。

QR コードを読み取り、Picture Dictionary の 16 ページを見ながら、国の名前を言ってみましょう。

★B：「音声・動画」を見ないで取り組める課題です。

(1) 教科書 87 ページの Let's Read and Write①に取り組みましょう。

① “Italy is a nice country.” を声に出して言ってみましょう。

② 教科書 87 ページの書き方を見ながら、自分の「おすすめの国や町」を「わたしのせりふ」にかえて、取組シート（外国語）やお家のノートに書き写してみましょう。

(2) 教科書 91 ページの Sounds and Letters に取り組みましょう。

・ Ss を取組シート（外国語）に書き写してみましょう。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

■学習補助教材動画を配信しています。必要に応じてご活用ください。
小学校、中学校で共通して学習する内容を紹介しています。

http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/english_hojyo.html



＜配信内容＞

今週は、「国」を活用してみましょう。

「一日の生活」「乗り物」「味」「衣類」「一日の時間・文房具」

「教科」「状態」「月」「序数（日付）」「名前の書き方」「アルファベットの大文字・小文字」

「食べ物」「スポーツ」「国」「色」などもあります。

※「取組シート（外国語）」は、札幌市教育委員会ホームページからダウンロードすることができます。

【体育】

けがをしないよう、まわりをよくたしかめて取り組みましょう。

<べんきょうすること>

※動画を見られる場合は、右のQRコードを使ってください。

<http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/nawatobi.html>



◆「なわ跳び」にとりくみましょう。

一つずつクリアしていくと、2重跳びができるようになりますよ。

○前とびのやりかた



わきをしめて
手くびをはやくまわします

わきに本をはさんでいる
つもりでとびましょう

○リズムの練習



むねのまえ

ふともものよこ

こつは、わきをしめて手首を早く回すことです。わきに本をはさんでいるつもりで跳びましょう。また、つま先で着地すると、上手に跳ぶことができます。30秒で70回くらいとべるようになると、2重跳びができるようになりますといわれています。

なわを持たずに、2重跳びのリズムをおぼえます。跳んだときに、むねの前で手を2回たたいたり、太ももを2回たたいたりします。

○なわ回し



なわを早くまわすためには、手くびの動かし方が大切になります。片手ずつ、左右両方やってみよう。

○「2重跳び→前とび」のくり返し



2重跳びと前とびを組み合わせます。最初は2重跳びをする時にひざを曲げて高く跳びましょう。次に前とびを3→2→1回と減らしていきます。できたら連続2重跳びにチャレンジしてみよう。

◆連続で何回跳べたかや、30秒で何回跳べたかを数えてみよう。

※余裕があれば、前に紹介した跳び方で二重跳びに挑戦するなどの工夫をしてみましょう。くり返し取り組めると、上手になりますよ。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

跳んだ回数を数えてあげたり、こつをうまく生かして跳んでいる姿を褒めてあげたりして、継続して取り組む意欲へとつながるよう声をかけてあげてください。